#### 藤沢市国土強靭化地域計画の改定について

#### 1 趣旨

本市では、防災及び減災の施策を客観的に分析・整理し、更なる充実を図ることを目的として、令和4年3月に藤沢市国土強靱化地域計画(以下「本計画」という。)を策定しました。この度、この間の防災施策を振り返るとともに、令和6年能登半島地震の発生や南海トラフ地震臨時情報の発表も踏まえ、それらの教訓や最新の知見等を反映させ、一層の実効性を伴うよう地域の強靱化に資する施策・事業等を再編し、本計画を改定するものです。

#### 2 改定のポイント

#### (1) 周知啓発に向けた工夫

民間の複業人材やインターンシップ学生との協働により、分かりやすく親しみやすいデザイン等を採り入れるとともに、防災関連諸計画に共通する概況説明を割愛する等スリム化し、市民への浸透を図ります。

#### (2) 施策体系の再構築

国の国土強靱化基本計画(以下「基本計画」という。)に掲載された目標及びリスクシナリオ等に準拠しながら、本市の特性に応じた独自の施策体系を新たに構築します。

#### (3) 実施事業の位置付け(藤沢市地域防災対策アクションプランを統合)

本計画の実施事業は、藤沢市地域防災計画の実施事業を兼ねることになるため、これまでの地域防災対策アクションプランを防災・減災実施事業として再編し、本計画において 実施する事業に位置付けて統合します。

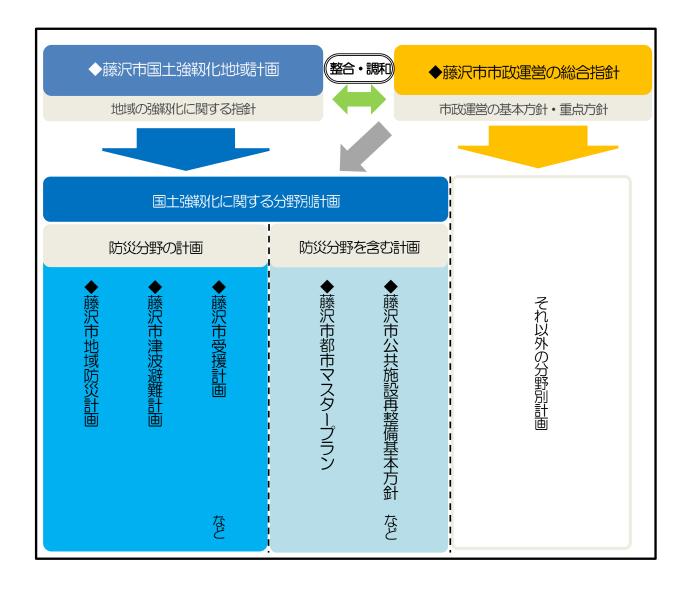
#### 3 概要

#### (1)本計画の構成

- 第1章 総論…改定の趣旨、位置付け、計画の体系、計画期間
- 第2章 基本的な考え方…想定する災害、目標・リスクシナリオ・施策の設定等
- 第3章 リスクに対応する施策の展開…施策ごとの主な推進方法、実施事業、指標例等
- 第4章 推進体制及び進捗管理…推進体制、進捗管理

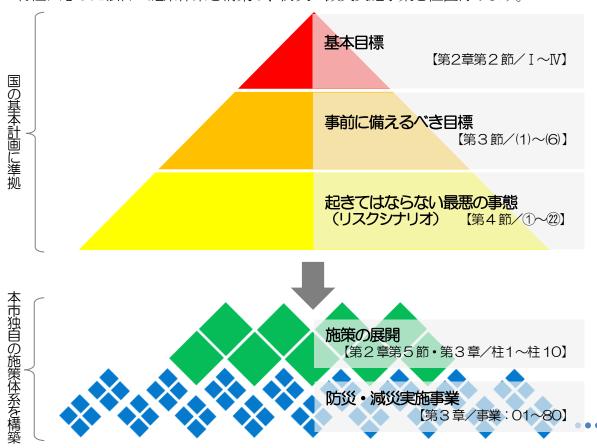
#### (2)本計画の位置付け

本計画は、本市の強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針となる ため、市政の基本方針である藤沢市市政運営の総合指針(以下「総合指針」という。)との 整合・調和を図ります。



#### (3) 本計画の体系

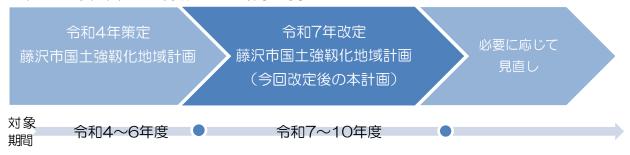
持続可能で強靱な地域と質の高いインフラの整備といった、「強さ」「しなやかさ」を持った安全・安心な社会の実現に向け、国の基本計画に掲載された「基本目標」、「事前に備えるべき目標」、「起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)」に準拠しながら、本市の特性に応じた独自の施策体系を構築し、防災・減災実施事業を位置付けます。



#### (4)計画期間

総合指針の対象期間に合わせ、令和7年度から令和10年度までの4年間としますが、 計画期間中であっても、総合指針の改定、関係法令の改正、基本計画等の改定、社会情勢 の変化や施策の進捗状況等を踏まえ、必要に応じて本計画を見直します。

#### ■改定により、令和10年度までの4年間が対象



# (5)目標・リスクシナリオ・施策等

## ア基本目標

本計画の基本目標					
I	人命被害を限りなく減らし、風水害からの逃げ遅れをゼロにすること				
П	市域の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること				
Ш	市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化				
IV	迅速な復旧復興				

## イ 事前に備えるべき目標

市が事前に備えるべき目標					
(1)	あらゆる自然災害に対し、直接死を最大限防ぐ 【想定するリスクシナリオ】 ①②③④				
(2)	迅速な救助・救急、避難生活の環境改善により、関連死を最大限防ぐ 【想定するリスクシナリオ】 ⑤⑥⑦⑧⑨				
(3)	必要不可欠な行政機能は確保する 【想定するリスクシナリオ】 ⑩⑪				
(4)	経済活動を機能不全に陥らせない 【想定するリスクシナリオ】 ①3				
(5)	通信、交通、エネルギー等ライフラインの被害を最小化し、早期に復旧する 【想定するリスクシナリオ】 (4)(5)(6)(7)				
(6)	社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復旧・復興できる条件を整備する 【想定するリスクシナリオ】 1819202122				

# ウ 起きてはならない最悪の事態 (リスクシナリオ)

起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)						
1	大規模地震に伴う、建物倒壊による多数の死傷者の発生					
2	大規模地震に伴う密集市街地等の大規模火災の発生による多数の死傷者の発生					
3	広域にわたる大規模津波等による多数の死傷者の発生					

4	突発的又は広域的な土砂災害・洪水・高潮等に伴う多数の死傷者の発生
(5)	自衛隊、警察、消防、海保等の被災等による救助・救援活動等の絶対的不足
6	医療・福祉施設及び関係者の不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能 の麻痺
7	劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・ 心理状態の悪化による死者の発生
8	被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の停止
9	想定を超える大量の帰宅困難者の発生、混乱
10	被災による司法機能、警察機能の大幅な低下による治安の悪化、社会の混乱
11)	地方行政機関の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下
12	サプライチェーンの寸断等による企業の生産力・経営執行力低下
13	食料等の安定供給の停滞に伴う、市民活動への甚大な影響
<u>(14)</u>	災害時に活用する情報サービスや通信インフラが機能停止し、避難行動や救助・支援が遅れる事態
15	電力供給ネットワーク(発変電所、送配電設備)、都市ガス・石油・LP ガス 等の燃料供給施設等の長期間・大規模にわたる機能の停止
16	上下水道施設の長期間にわたる機能停止
17)	交通ネットワークの機能停止による物流・人流への甚大な影響
18	復興ビジョンや地域合意の欠如等により、復興が大幅に遅れる事態
19	復興を支える人材等(専門家、コーディネーター、ボランティア、NPO、企業、労働者、地域に精通した技術者等)の不足等により復興できなくなる事態
20	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態
21)	事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅 に遅れる事態
22	貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・ 無形の文化の衰退・損失

# 工 施策

	施策	実施	也事業
柱	防災知識の普及啓発	01	ふじさわ防災ナビ(小冊子)改定事業
1		02	ハザードマップの更新及び増刷
	対応するリスクシナリオ (1)2)3(4)6(7)8	03	応急手当普及啓発推進事業
	112/3/4/0/7/8	04	学校における防災教育の推進
柱	住宅等の耐震化	05	危険ブロック塀等安全対策工事費補助事業
2		06	家具転倒防止対策事業
	対応するリスクシナリオ ①37 <b>17</b> 20	07	建築物等防災対策事業
444		08	市営住宅環境整備事業
柱	地域防災力の向上	09	災害時のボランティアの募集
3		10	自主防災組織資機材等購入費補助
		11 12	指定防災井戸設置補助 地震体験車等の訓練での活用
	対応するリスクシナリオ	13	地域防犯活動の推進
	12345678	14	近隣・街区公園新設事業
	1013141519	15	消防団充実強化推進事業
柱	緊急情報の伝達	16	緊急情報取得手段の普及啓発
4	NON TIME	17	情報配信設備等整備
	対応するリスクシナリオ	18	インフラ損傷時を想定した通信回線の確保
	12345789	19	SNS緊急速報情報サービスの運用
	10(1)(1)	20	消防通信指令体制の強化
柱	避難対策の強化	21	個別避難計画の作成
5		22	避難所等の環境改善
	対応するリスクシナリオ	23	高齢者施設等防災・減災対策推進事業
	$\begin{array}{ c c c c c }\hline 12346789\\ 0\\\hline \end{array}$	24	藤沢市立地適正化計画による安全・安心な居住環境
I.V.		0.5	づくりの推進
柱	防災資機材の増強	25	防災備蓄資機材の充実
6		26 27	マンホールトイレの整備 災害対策用スセ機力を修業
		28	災害対策用ろ水機点検修繕 耐震性飲料用貯水槽整備事業
		29	防災備蓄倉庫の整備
		30	大規模震災及び特殊災害対策強化事業
	対応するリスクシナリオ	31	消防救助資機材等整備事業
	123457810	32	消防無線等管理事業
	(13(15(16)	33	消防自動車等整備事業
柱	自然災害(津波、風水	34	津波避難施設の整備
7	害)への備え	35	急傾斜地防災事業
		36	公園改修事業(法面対策)
		37	市有山林の法面対策事業
	対応するリスクシナリオ	38	健康と文化の森地区浸水対策事業
	13457116	39	一色川の河川改修事業
		40	浸水対策施設整備及び被害最小化に向けた取組

	施策	実施事業	
柱	拠点施設の再整備	41	防災広場及び備蓄拠点整備事業
8		42	生活・文化拠点再整備事業
		43	片瀬山市民の家再整備事業
		44	鵠沼市民センター等再整備事業
		45	村岡公民館の再整備
		46	消防庁舎等の整備
		47	消防庁舎等の維持管理
		48	学校施設維持保全事業
		49	学校施設再整備事業
	対応するリスクシナリオ	50	学校施設環境整備事業
	102345789	51	鵠沼中学校再整備事業
	(10/11/13/57)	52	<b>辻堂小学校再整備事業</b>
柱	防災都市づくり	53	帰宅困難者対策
9		54	文化財の保護
		55	保育所等整備事業
		56	一般廃棄物処理施設整備事業
		57	環境事業センター災害廃棄物収集事業
		58	商工会議所との協働により実施する事業継続力強化
			支援
		59	漁港施設の機能保全対策事業
		60	農業基盤整備事業
		61	空家対策事業
		62	村岡地区都市拠点総合整備事業
		63	藤沢駅南口391地区市街地再開発事業
		64	藤沢駅南口駅前広場及びデッキ再整備事業
		65	狭あい道路整備事業
		66	無電柱化の推進
		67	都市計画道路等の整備
		68	トンネル等道路施設の安全確保
		69	橋りょう耐震化事業
		70	下水道管路の耐震化
	対応するリスクシナリオ	71	浄化センター・ポンプ場の耐震化・耐津波化 を呼ばれるのなる対策
	$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	72	危険物施設等の安全対策・建物の火災予防対策 消防法令に基づく、火災予防指導事業
	21)(22)	73	
<del>/,}-</del>	迅速な復旧・復興	74 75	消防水利管理事業 災害時応援協定の促進と受援体制の構築
柱 10	心体は返口・後央	76	次音時応援励たの促進と支援体制の構築 災害復興基金の活用
10		77	防災協力農地の確保
	対応するリスクシナリオ	78	復興まちづくりの事前準備
	578101213141516	79	応急仮設住宅の設置計画の推進
	17(18(19(20)21)22)	80	地籍調查事業
		00	地和则且ず木

#### 4 これまでの取組と今後の予定(スケジュール)

令和6年 4月~ 藤沢市国土強靱化地域計画推進会議・同ワーキンググループ (作業部会) における改定意見の照会 (11月まで5回)及び庁内改定作業

8月~ 複業人材及びインターンシップ学生との合同ミーティングによる意 見交換(12月まで6回)

12月 パブリックコメントを実施(1月6日まで) 市議会定例会総務常任委員会に改定案を報告

令和7年 3月 本計画の改定、概要版の作成 市議会へ情報提供及び市民周知

以上

(事務担当 防災安全部 防災政策課)